



ごあいさつ

公益財団法人大垣市体育連盟
会 長 堤 俊 彦

明けましておめでとうございます。

皆さまには、令和4年の輝かしい新年をお迎えのことと、謹んでお喜び申し上げます。

さて、令和3年は、本連盟の創立70年という大きな節目の年でありました。これまで長い歩みを重ねてこられましたのは、ひとえに諸先輩をはじめ、お力添えを賜りました皆さまのおかげと心から感謝申し上げます。

7月から8月にかけて開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、メダルラッシュに沸いた選手団の活躍が、国民に改めてスポーツの素晴らしさを示してくれました。新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら無観客での開催となりましたが、多くの国民がテレビの前で選手の活躍に歓声を上げました。また、フェンシング、新体操、ホッケー、水球で出場した大垣市ゆかりの選手6名の活躍も、われわれ大垣市民にとって大きな励みとなりました。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行により、世界中が危機に直面する状況が続いており、スポーツ界においても、いまだに我慢の年となっております。70周年記念事業が延期を余儀なくされたのははじめ、例年開催される「岐阜県民スポーツ大会」や、大垣市民が各種競技で競い合う「大垣市民総合体育大会」の校区対抗競技も、2年連続中止となりました。参加者の安全を考えるとやむを得ませんが、残念でなりません。

さらには、市有体育施設の利用停止や利用人数の制限、各種事業の中止など、市民の皆さまには大変なご不便とご迷惑をおかけいたしました。

このような状況の中、本連盟といたしましては、フェイスブックやYouTubeなどのSNSを活用して、施設の使用制限に関わらずオンラインで多くの方に参加いただける事業を実施するなど、「感染防止対策を講じて、どのように実施するのか」「何かほかにできることはないのか」など、試行錯誤しながら事業を進めてまいりました。

今後も、新型コロナウイルス感染症の影響は続くとは思いますが、本連盟が目指す第5次将来構想のもと、「暮らしにスポーツのある都市（まち）－大垣」の実現に向け、これまで培った組織の経験を生かし、各種事業や施策を進めてまいります。

また、市民の皆さまが主役となるスポーツ振興を心掛けるとともに、公益財団法人としての社会的役割を十分認識し、市民の皆さまに信頼され、期待される組織づくりに努めてまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、令和4年が皆さまにとりまして、希望に満ちた輝かしい年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。